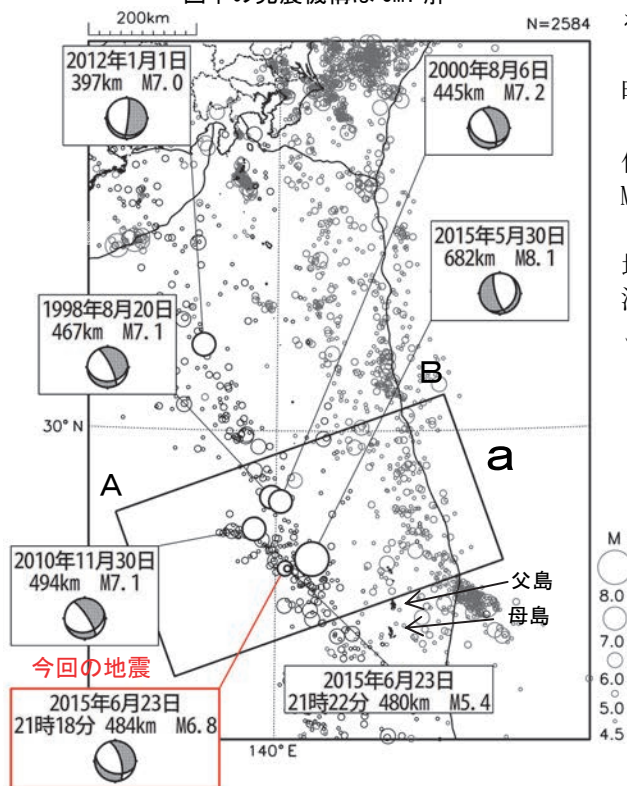


6 月 23 日 小笠原諸島西方沖の地震

震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2015 年 6 月 30 日、
 深さ 0～700km、 $M \geq 4.5$)
 100km より深い地震を濃く表示
 図中の発震機構は CMT 解



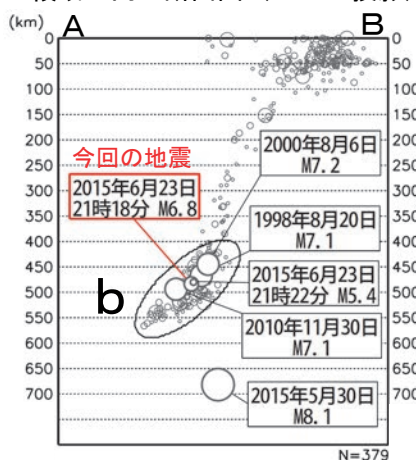
2015 年 6 月 23 日 21 時 18 分に小笠原諸島西方沖の深さ 484km で $M 6.8$ の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構 (CMT 解) は、太平洋プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

余震活動は低調で、最大規模の余震は、6 月 23 日 21 時 22 分に発生した $M 5.4$ の地震 (最大震度 2) である。

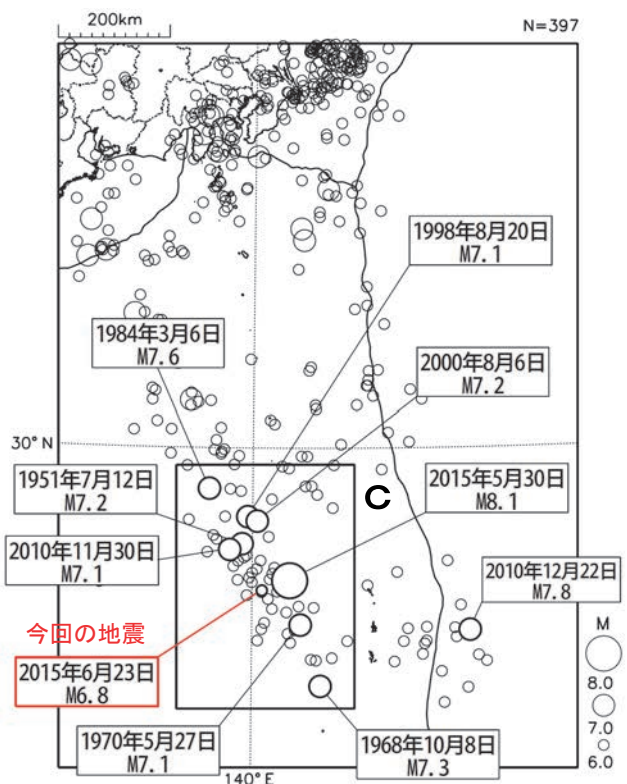
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では定常的な地震活動が見られており、 $M 7.0$ 以上の地震が 3 回発生している。

なお、今回の地震の周辺では、先月 30 日に $M 8.1$ の地震 (深さ 682km、最大震度 5 強) が発生しているが、深さがおよそ 200km 異なっているため、今回の地震はこの地震の余震ではないと考えられる。

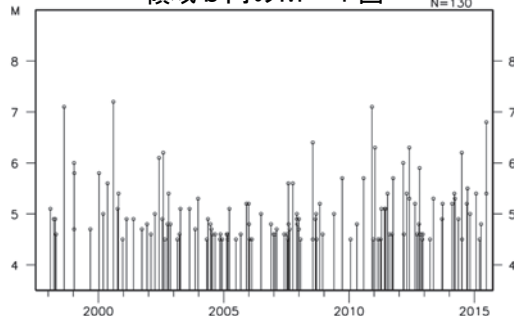
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2015 年 6 月 30 日、
 深さ 0～700km、 $M \geq 6.0$)



領域 b 内の M-T 図



1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、 $M 7.0$ 以上の地震が時々発生している。先月 30 日に発生した $M 8.1$ の地震 (最大震度 5 強) では、東京都で地震関連負傷者 8 件、埼玉県で負傷者 3 人、神奈川県で負傷者 2 人などの被害を生じた (総務省消防庁による)。

領域 c 内の M-T 図

